

# おはなしばたけ通信 vol.17

平成26年3月4日  
交野市立 和野小学校  
読書ボランティア  
ぎやいちおはなしばたけ

## 6年生メンバーからのメッセージ

祝 六年生のおはなしさん  
ご卒業おめでとうございます。

本は一生つきあていける  
心の友になります。  
これからもいろいろな本と  
出会えますように。

大好きな絵本を真ん中にみんなと共に  
過ごすことが出来たのも 支えて下さった校長先生  
はじめ先生方、応援して下さい下さりのお陰です。  
始めることより、継続することの重みを知りました。  
人は出会って知人となり、語り合えば友人となり  
共に汗を流して仲間となる。』  
どうかたくさんの中味が集まりましょーにー♡  
ありがとうございました！ (ジュー)

桜の蕾が少しずつ、ふくらんで 木々は春を待ちのぞんでいます。皆様如何 お過ごし  
でしょうか？

25年度のおはなしばたけの活動は 交野市司書の方をお招きし、絵本を読んでいただい  
たり お話をお聴きしました。そして倉治図書館で交野高校の司書の先生のお話、交流会、絵  
本講座などの研修機会に参加しました。図書室では 子育てのことや、様々な話をしながら 図書整備を  
し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。交野市では すべての子どもたちが読書を楽しめるようにと  
いはは「本の森プロジェクト」が動き出します。

これからも、がんばりますが、子どもたちは もろろんのこと、親である私達も 楽しめる活動を  
続けていきたいと思っております。本当に、ありがとうございました。新年度も よろしくお祈りします。



## 春休みのオススメ本

低学年	中学年	高学年	大人
<p>『どうぶつえんガイド』 あべ 弘士 作絵 なかのまさたか デザイン 〈福音館書店〉</p>	<p>『しじみのさくら山』 松成 真理子 〈白泉社〉</p>	<p>『冒険者たち』 ガンバと15ひきの仲間 斎藤 惇夫 作 数内 正幸 画 〈岩波書店〉</p>	<p>『私の絵本ろん』 中・高校生のための絵本入門 赤羽 珠吉 〈平凡社〉</p>

今度の6年生が2年生だった頃から  
始まった絵本の時間...子ども達と  
一緒に過ごした時間は、私にとって  
元気のもとでした。聞いてくれたみな  
な、ありがとう。これからもスナキな  
本との出会いがありますように♡  
(チャン)

卒業おめでとう  
子供を通して、沢山の  
絵本と出会え、とても  
幸せな世界感を体験  
する事が出来たことに  
感謝の思いでいっぱい  
です♡

おはなしばたけの活動に、とても  
楽しく関わらせていただいて、感謝  
です。想像以上の発見と喜び、  
温かさを感じました。  
お世話になった先生方とおはなし  
ばたけメイト、熱心にきてくれた  
子ども達みんなに、どうもありがとう  
ございました。 <ミヤミン>

おはなしばたけが誕生して、5年が経ちました。  
仲間が増え、和野小学校の全部のクラスで、  
おはなしの時間が出来るというね」とりんで  
スタートしたのが、今は25名の素敵が仲間が出来  
ました。大人になっても、本を読む楽しさ、友達が出来  
る喜びを実感しました。何事も、いつにたつても 勇気のオ  
ー一步は、不安もあるし、ドキドキの連続でした。  
今日まで、乗り越えられたのは、沢山の方々の助けのおかげだと  
感謝しています。素敵の思い出も、楽しい思い出も  
本室にありたいと思います!! あきこ☆

ほっとひとこま  
六年生のひびきさんへ  
「祝婚歌」で有名な詩人  
吉野弘氏の贈る歌より  
お父さんに「おはなむけの言葉  
とします。」  
まだまだ難しいかも知れない  
けれど、二十歳になったとき、  
もしかして 親になったとき  
思い出してくれたらうれしいです。  
卒業おめでとう!!  
奈々子に  
吉野弘  
赤い林檎の頬をして  
眠っている 奈々子。  
略  
唐突だが  
奈々子  
お父さんは お前に  
多くを期待しないだろう。  
ひとが  
ほかからの期待に応えようとして  
どんなに  
自分を駄目にしてしまうか  
お父さんは はっきり  
知ってしまったから。  
略  
ひとが  
ひとでなくなるのは  
自分を愛することをやめるときだ。  
自分を愛することをやめるとき  
ひとは  
他人を愛することをやめ  
世界を見失ってしまう。  
自分があるとき  
他人があり  
世界がある。  
お父さんにも  
お母さんにも  
酸っぱい苦勞がふえた。  
苦勞は  
今は  
お前にあげられない。  
お前にあげたいものは  
香りのよい健康と  
かちとるにむずかしく  
はぐくむにむずかしい  
自分を愛する心だ。